

認 定 書

国住指第 2869 号
平成 29 年 1 月 26 日

一般社団法人日本壁装協会
代表理事 安田 正介 様

国土交通大臣 石井 啓一



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 25 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 1 条第五号及び第 108 条の 2 第一号から第三号まで（準不燃材料）の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号
QM-0885
2. 認定をした構造方法等の名称
合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））
3. 認定をした構造方法等の内容
別添の通り

（注意）この認定書は、大切に保存しておいてください。

(別添)

1. 材料名

合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙張／基材（準不燃材料及び不燃材料（金属板を除く））

2. 形状及び寸法等

項 目	仕 様
形 状	平板
表 面 形 状	(1) ～ (3) のうち、いずれか一仕様又は組合せとする (1) 平滑 (2) 粗面 (3) エンボス
表面化粧材の 厚 さ (mm)	5.0 \pm 0.5以下
表面化粧材の 質 量 (g/m ²)	555.0 \pm 55.5以下

3. 材料構成

項 目	仕 様														
表面化粧材	<p>合成樹脂フィルム・塩化ビニル系樹脂壁紙</p> <p>…厚さ$5.0_{\pm 0.5}$mm以下</p> <p>質量$555.0_{\pm 55.5}$g/m²以下(有機質量$251.0_{\pm 25.1}$g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]化粧：合成樹脂フィルム（[1]-1～[1]-4の組合せとする）</p> <p>…厚さ$0.02_{\pm 0.002}$mm以下</p> <p>質量$40.0_{\pm 5.0}$ g/m²以下(有機質量$20.0_{\pm 3.0}$g/m²以下)</p> <p>構成：</p> <p>[1]-1 合成樹脂フィルム：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂フィルム^{※1}…厚さ$0.05_{\pm 0.005}$mm以下</p> <p>質量$15.0_{\pm 1.5}$g/m²以下(有機質量$15.0_{\pm 1.5}$g/m²以下)</p> <p>(2)フッ素系樹脂フィルム…厚さ$0.05_{\pm 0.005}$mm以下</p> <p>質量$15.0_{\pm 1.5}$g/m²以下(有機質量$15.0_{\pm 1.5}$g/m²以下)</p> <p>[1]-2 合成樹脂：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)合成樹脂：質量$20.0_{\pm 2.0}$g/m²(固形量)以下(有機質量$10.0_{\pm 1.0}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂^{※2}</td><td>……………$10.0_{\pm 1.0}$以下</td></tr> <tr> <td colspan="2">(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td><td>……………0～$19.0_{\pm 1.9}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td><td>……………0～$19.0_{\pm 1.9}$</td></tr> </table> <p>(2)なし</p> <p>[1]-3 印刷インク：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)印刷インク：質量$20.0_{\pm 2.0}$g/m²(固形量)以下(有機質量$10.0_{\pm 1.0}$g/m²以下)</p> <p>構成(g/m²)</p> <table border="0"> <tr> <td>合成樹脂インク^{※4}</td><td>……………$10.0_{\pm 1.0}$以下</td></tr> <tr> <td>無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}</td><td>……………0～$19.0_{\pm 1.9}$</td></tr> <tr> <td>無機質系添加剤^{※3}</td><td>……………0～$19.0_{\pm 1.9}$</td></tr> </table> <p>(2)なし</p> <p>[1]-4 無機材：(1)、(2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1)無機質系充てん材、無機質系顔料^{※8}、無機質系添加剤^{※3}</p> <p>…質量$25.0_{\pm 2.5}$g/m²(固形量)以下</p> <p>(2)なし</p>	合成樹脂 ^{※2}	…………… $10.0_{\pm 1.0}$ 以下	(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)		無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$	合成樹脂インク ^{※4}	…………… $10.0_{\pm 1.0}$ 以下	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$	無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$
合成樹脂 ^{※2}	…………… $10.0_{\pm 1.0}$ 以下														
(但し、ポリエステル系は2.0～9.0とする)															
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$														
合成樹脂インク ^{※4}	…………… $10.0_{\pm 1.0}$ 以下														
無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$														
無機質系添加剤 ^{※3}	……………0～ $19.0_{\pm 1.9}$														

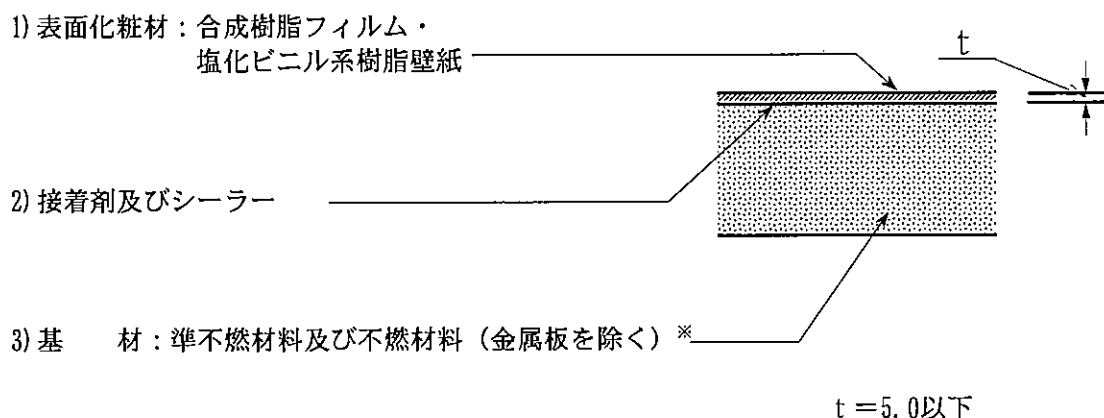
項 目	仕 様
表 面 化 粧 材 (つづき)	[2] 主素材：(1)～(3)のうち、いずれか一仕様とする
	(1) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下
	質量 365.0 ± 36.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 166.0 ± 16.6 g/m ² 以下 ^{※5})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	塩化ビニル樹脂 …………… 98.2 ± 9.8 以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …………… 62.9 ± 6.3 以下
	(但し、減粘剤は、0～11.6 ± 1.2 の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} …………… 19.6 ± 2.0 以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)
	…………… 0～8.5 ± 0.9
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …………… 4.9 ± 0.5 以下
	有機質系顔料 ^{※9} …………… 0～3.1 ± 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …………… 0～2.3 ± 0.2
	(2) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下
	質量 355.0 ± 35.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 156.0 ± 15.6 g/m ² 以下 ^{※6})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	塩化ビニル樹脂 …………… 92.3 ± 9.3 以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …………… 59.1 ± 5.9 以下
	(但し、減粘剤は、0～10.9 ± 1.1 の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} …………… 18.5 ± 1.9 以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)
	…………… 0～8.0 ± 0.8
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …………… 4.6 ± 0.5 以下
	有機質系顔料 ^{※9} …………… 0～2.9 ± 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …………… 0～2.2 ± 0.2
	(3) 塩化ビニル系樹脂
	…厚さ 2.8 ± 0.28 mm以下
	質量 345.0 ± 34.5 g/m ² 以下 ^{※5} (有機質量 146.0 ± 14.6 g/m ² 以下 ^{※6})
	構成 (g/m ²) ^{※5}
	塩化ビニル樹脂 …………… 86.4 ± 8.6 以下
	可塑剤 ^{※7} ・減粘剤 (カルボン酸エステル系) …………… 55.3 ± 5.5 以下
	(但し、減粘剤は、0～10.2 ± 1.0 の範囲とする)
	無機質系充てん材、無機質系顔料 ^{※8} …………… 17.3 ± 1.7 以上
	有機質系発泡剤 (アジカルボンアミド系、オキシスチレンポリブタジド)
	…………… 0～7.5 ± 0.8
	有機質系安定剤 (亜鉛系化合物) …………… 4.3 ± 0.4 以下
	有機質系顔料 ^{※9} …………… 0～2.7 ± 0.3
	添加剤 (防かび剤、抗菌剤、機能性付加剤) …………… 0～2.0 ± 0.2

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>[3] 裏打材^{※10} : (1) ~ (3) のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>(1) 裏打紙 : …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下、質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$65.0_{\pm 6.5}$g/m²以下) 構成(g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$65.0_{\pm 6.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}を$15.6_{\pm 1.56}$以下とし、かつ有機質量を$52.0_{\pm 5.2}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$8.8_{\pm 0.88}$以下 有機繊維^{※11} …$46.0_{\pm 4.6}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$47.0_{\pm 4.7}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $16.6_{\pm 1.66}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>(2) 裏打紙 : ([2] 主素材が(2) の場合に限る) …厚さ$0.5_{\pm 0.05}$mm以下、質量$150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下(有機質量$75.0_{\pm 7.5}$g/m²以下) 構成(g/m²) : 1) 又は1) と2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$75.0_{\pm 7.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12}を$18.0_{\pm 1.80}$以下とし、かつ有機質量を$60.0_{\pm 6.0}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$10.1_{\pm 1.01}$以下 有機繊維^{※11} …$53.0_{\pm 5.3}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を$54.0_{\pm 5.4}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は$1.0_{\pm 0.1}$ ~ $19.2_{\pm 1.92}$とする。)</p> <p>2) 無機質 : ①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0 \sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p>

項 目	仕 様
表面化粧材 (つづき)	<p>(3) 裏打紙： ([2] 主素材が (3) の場合に限る) …厚さ $0.5_{\pm 0.05}$mm以下、質量 $150.0_{\pm 15.0}$g/m²以下 (有機質量 $85.0_{\pm 8.5}$g/m²以下) 構成 (g/m²) : 1) 又は 1) と 2) を組合せた仕様とする</p> <p>1) 有機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①有機繊維^{※11} …$85.0_{\pm 8.5}$以下 (但し、合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合は、合成樹脂系繊維^{※12} $20.4_{\pm 2.04}$以下とし、かつ有機質量を $68.0_{\pm 6.8}$以下とする。)</p> <p>②合成樹脂^{※2} …$11.6_{\pm 1.16}$以下 有機繊維^{※11} …$61.0_{\pm 6.1}$以下 (但し、合成樹脂^{※2}を使用する場合、有機質量を $62.0_{\pm 6.2}$以下とする。有機繊維として合成樹脂系繊維^{※12}とその他の有機質系繊維を組合せて使用する場合、合成樹脂系繊維^{※12}は $1.0_{\pm 0.1}$～$22.2_{\pm 2.22}$とする。)</p> <p>2) 無機質：①、②のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>①無機質系充てん材^{※8} …$0\sim 120.0_{\pm 12.0}$ ②なし</p> <p>※1:合成樹脂フィルムは、ポリエチレン系樹脂フィルム、エチレン・ビニルアルコール共重合体系樹脂フィルム、ポリプロピレン系樹脂フィルムのいずれか、又は組合せとする。 ※2:合成樹脂は、エチレン・酢酸ビニル系、酢酸ビニル系、ウレタン系、アロキシラン加水分解縮合物系、塩化ビニル系、アクリル系、シリコン系、ポリエステル系、フッ素系、マレイン酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※3:無機質系添加剤は、シリカ、光触媒酸化チタン、無機質系抗菌剤、無機質系機能性材料のいずれか、又は組合せとする。 ※4:合成樹脂インキは、アクリル系、塩化ビニル系、ウレタン系、ニトロセルロース系、酢酸ビニル系、エチレン・グリコール系のいずれか、又は組合せとする。 ※5:質量及び構成は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合質量及び配合組成とする。 ※6:有機質量は、加工時に可塑剤、減粘剤、発泡剤等が揮発等により減量するため、配合有機質量とし、配合組成中の有機質を組合せた配合量合計とする。 ※7:可塑剤は、フタル酸系、テレフタル酸系、イソフタル酸系、アジピン酸系、ポリエステル系、DINCH系、エポキシ系、有機りん系、塩素化パラフィン系、トリメチット酸系のいずれか、又は組合せとする。 ※8:無機質系充てん材、無機質系顔料は、酸化チタン、酸化鉄、酸化亜鉛、マイカ、炭酸カルシウム、タルク、水酸化アルミニウム、水酸化マグネシウム、三酸化アンチモン、杧酸亜鉛、シリカ、金属粉 (アルミニウム)、鉱物粒及び鉱物粉のいずれか、又は組合せとする。 ※9:有機質系顔料は、アゾ系顔料、ファロシアニン系顔料、縮合多環系顔料、合成樹脂^{※2}のいずれか、又は組合せとする。 ※10:裏打材は、紙、無機質紙、不織布 (non woven paper) のいずれかとする。 ※11:有機繊維は、パルプ、レーヨン、綿、麻、スフ、キュプラ、アセテート、合成樹脂系繊維のいずれか、又は組合せとする。 ※12:合成樹脂系繊維は、ナイロン、ビニロン、ビニデーン、ポリ塩化ビニル、ポリエステル、アクリル、ポリウレタン、ポリビニルアルコールのいずれか、又は組合せとする。</p>

項 目	仕 様
接着剤及びシーラー	<p>1)、2)のうち、いずれか一仕様とする</p> <p>1) …質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] でん粉系接着剤 …質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$60 \pm 6 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { でん粉のり……………80 ± 2以上 補強剤^{※13}……………20 ± 2以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー：合成樹脂^{※14} …質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>2) …質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$以下) 構成:以下の[1]又は[1]と[2]を組合せた仕様とする</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="font-size: 3em; margin-right: 10px;">{</div> <div> <p>[1] メチルセルロース系接着剤 …質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$40 \pm 4 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>組成 (質量%) { メチルセルロース……………80 ± 2以上 補強剤^{※13}……………20 ± 2以下 (又は補強剤なし)</p> </div> </div> <p>[2] シーラー：合成樹脂^{※14} …質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$ (固形量) 以下 (有機質量$10 \pm 1 \text{g/m}^2$以下)</p> <p>※13：補強剤は、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せとする。</p> <p>※14：合成樹脂は、アクリル樹脂エマルジョン (アクリル酸エステル共重合体エマルジョン、メタクリル酸エステル共重合体エマルジョン)、エチレン酢酸ビニル樹脂エマルジョン、酢酸ビニル樹脂エマルジョンのいずれか、又は組合せた仕様、又はシーラーなしとする。</p>
基 材	<p>準不燃材料及び不燃材料 (金属板を除く)</p> <p>平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料及び告示1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの</p>

4. 構造説明図 (寸法単位：mm)



※平成12年の建設省告示第1401号に例示された準不燃材料及び告示1400号に例示された鉄鋼、金属板、アルミニウムを除く不燃材料のうち、すでに化粧を施されたものを除くもの